

# 經濟論叢

第106卷 第5号

- 
- 労働市場の形成要因について……………赤岡 功 1
- 労働力の「市場価値」について……………松井 栄一 18
- ブルジョア社会の国家形態での  
総括と後半体系……………関下 稔 38
- 社会主義的「商品」説における  
直接に社会的な労働……………青木 國彦 58
- 

昭和45年11月

京都大學經濟學會

## 京都大学経済学会規則 (抜萃)

- 第2条 本会は左の会員をもって組織する
- (イ) 正会員 1. 京都大学経済学部教授、助教授、講師、助手及び同学部出身者  
2. 京都大学大学院経済学研究科学生及び同研究科出身者  
3. 評議員会にてとくに認めたもの
- (ロ) 学生会員 京都大学経済学部学生
- (ハ) 賛助会員 本会の事業を賛助するもの
- 第3条 前条のほか所定の会費を納めて「経済論叢」の頒布を受ける個人及び団体は購読会員とする
- 第4条 特別の場合に限り前2条に定められた会員以外のものにも会員に準ずる取扱いをすることができる
- 第6条 本会は左の事業を行なう
1. 機関誌「経済論叢」を発行すること  
「経済論叢」は毎月1回発行すること、ただし臨時特別号を発行することがある
  2. 「経済学研究叢書」を発行すること
  3. 毎月1回学術研究会を開催すること
  4. 毎年1回公開講演会を開催すること
- 第9条 会員には雑誌を配布する、ただし臨時特別号はこの限りでない
- 第10条 会員は左の会費を納めなければならない
- (イ) 正会員 年額 2,000円 (ハ) 賛助会員 年額 10,000円以上
- (ロ) 学生会員 年額 2,000円 (ニ) 購読会員 年額 2,000円

### — 既 刊 目 次 —

#### 第106巻 第1・2・3号

経済学部創立50周年記念号 2

産地卸商の近代化……………	田 杉	競 彦
経営管理論再考……………	降 旗	武 彦
ドマー=アイスナー・モデルへの		
「マルクス=エンゲルス」効果の組入れ……………	高 寺	貞 男
流通費用の性格について……………	橋 本	本 勲

#### 第106巻 第4号

社会資本と労働力流動化財政……………	池 上	博 治
インフレーション下の税務会計……………	中 居	文 治
予算制度改革論における		
「科学的管理」と「真の民主主義」……………	横 田	茂 夫
援助と「財政自主権」……………	坂 井	昭 夫

執 筆 者 紹 介 (掲載順)

赤 岡 功 京都大学講師  
松 井 栄 一 高知大学教授  
関 下 稔 京都大学大学院学生  
青 木 國 彦 京都大学大学院学生

会員各位へ 会費は下記にて御納入下さるようお願いいたします。

1. 会費納入先 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部内  
京 都 大 学 経 済 学 会  
振替口座大阪50539番
1. 会費年額 2,000円(前納)
1. 会員各位の本籍、現住所、氏名、出身高校名、卒業年次、就職先を学会まで御通知下さい。
- ※ 会員外の雑誌購入は有斐閣へお申込み下さい。

昭和45年10月25日印刷  
昭和45年11月1日発行

編 集 兼  
発 行 人

京 都 大 学 経 済 学 会

印 刷 所

内 外 印 刷 株 式 有 限 公 司  
京都市下京区西洞院七条南入ル

発 行 所

京 都 大 学 経 済 学 会  
606 京都市左京区吉田本町  
振替口座大阪50539番

定価 220円

発 売 所

株 式 有 限 公 司 有 斐 閣  
101 東京都千代田区神田神保町2-17  
振替口座東京370番  
本郷支店 113 文京区東京大学正門前  
京都支店 606 左京区北白川追分町1

# Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

経  
済  
論  
叢  
  
昭和四五年十一月一日発行

---

---

Vol. 106, No. 5

November 1970

---

---

## CONTENTS

- On the Formation of the Labour Market .....*Isao AKAOKA*
- On "Market Value" of Labour .....*Eiichi MATSUI*
- On Marx's Plan of the Critique of  
the Political Economy.....*Minoru SEKISHITA*
- On the Direct Social Labour in the  
Socialist "Commodity" Theory .....*Kunihiko AOKI*

---

Published  
by

**KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI**  
(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)